

教001	項目名	北中学校校舎改築事業費	
予算書項目	北中学校校舎改築事業費	ページ	31
年度	H27		
所属名	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名	一般会計		
款	教育費		
項	中学校費		
目	学校建設費		
(単位:千円)	補正前額	458,518	
	要求額	△ 5,763	
総務部長段階査定額	△ 5,763	その他財源の内訳	
市長段階査定額	△ 5,763	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	△ 512	
	地方債	△ 5,000	
	その他	0	
	一般財源	△ 251	
	計	△ 5,763	
事業の概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【事業の経過及び背景】 北中学校の校舎改築事業は、平成25年度に着工し平成27年6月末で新築校舎が完成した。 旧校舎の解体工事を、平成28年3月末までに行うこととしていたが、施工形態の見直しに伴い、平成27年12月末までに完了することとなった。 そこで、平成28年度着手予定であった、校舎と体育館を結ぶ渡り廊下棟の建設や、コンクリートの剥落がある既存校舎の外壁改修及びエアコン改修工事を前倒しし、速やかに着手するもの。</p> <p>【事業の目的及び効果】 速やかに着手することで、生徒、教職員の安全と快適な教育環境を早期に確保する。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前倒しによる増額 <ul style="list-style-type: none"> 渡り廊下工事 33,456千円 外壁改修工事 9,604千円 エアコン工事 20,000千円 計 63,060千円 工法変更等に伴う減額及び請差による減額 <ul style="list-style-type: none"> 新築及び解体工事 △37,427千円 既存校舎改修工事 △31,396千円 計△68,823千円 <p>合計 △5,763千円</p>		
行財政改革課処理欄			

教002	項目名	外国人児童生徒編入学支援事業費	
予算書項目	外国人児童生徒編入学支援事業費	ページ	31
年度	H27		
所属名	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	一般会計		
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)	補正前額	900	
	要求額	1,500	
総務部長段階査定額	1,500	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,500	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,500	
	計	1,500	
事業の概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【事業の経過及び背景】 近年、外国から入国してきた児童生徒が増加しており、初めて市内小・中学校へ就学する児童生徒や編入後、複数年経過しているにもかかわらず日本語を用いてのコミュニケーション等に課題がある児童生徒に対する日本語の能力に応じた特別な支援が必要となっている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 初めて市内小・中学校へ就学する外国人児童生徒及び、編入学後複数年経過しているにもかかわらず日本語を用いてのコミュニケーション等に課題がある児童生徒を対象に生活指導や初期的な日本語指導及び母国語通訳のできる地域人材を「教育活動支援員」として該当校へ派遣することで該当児童生徒が安心して学び、生活できるよう支援する。</p> <p>【事業の内容・実績】 県教育委員会、大学、NPO法人、ボランティア団体、国際交流財団等との連携を図り、該当校と協議の上、教育活動支援員を派遣し、該当児童生徒への支援を行う。</p> <p>平成26年度：900,000円(実績) ※平成26年度新規事業</p>		
行財政改革課処理欄			

教003	項目名	校区審議会運営事業費	
予算書項目	校区審議会運営事業費	ページ	31
年度	H27		
所属名	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学務係 0857-20-3356		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】		
目 教育振興費	平成27年4月8日に第12期校区審議会から「中間まとめ」が提出された。その中で、早急な議論が必要な学校区とされている南中学校エリアについて、8月中の答申を目指し集中審議がなされており、学校視察など審議を重ねる過程において校区審議会の開催回数が予算時より増えることとなった。また、議論が急がれる他の地域においても方向性がまとまった校区から部分答申を行うこととしており、その動向等から審議の回数を増やすことが見込まれる。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
補正前額	689	児童生徒にとってより良い教育環境を整えるため、全市域を対象に学校配置と校区の設定について検討を進めていく必要がある。特に、人口減少に伴う学校の小規模化は今後も各地で進むことが予想される中、地域と学校の関係性や適正配置、通学距離といった視点を含めた審議が求められている。	
要求額	514	また、地域としての意向を集約するため、地域で検討を進める組織づくりを支援することで、地域における議論の深まりを期待しているところである。	
総務部長段階査定額	514	【事業の内容・実績】	
市長段階査定額	514	補正額514,000円(補正後1,203,000円 審議会10回開催予定)	
区分	補正額	①校区審議会開催回数増により委員等報酬、食糧費を増額補正するもの。 会議開催見込10回、正副会長開催見込3回(予算時計6回)	
財源内訳		②校区審議会開催回数増により県外から出席する委員の旅費(交通費)を増額補正するもの。 会議開催見込10回 正副会長開催見込3回(予算時計6回)	
国・県支出金	0	平成24年度: 571,092円(審議会7回開催)	
地方債	0	平成25年度: 767,761円(審議会6回開催)	
その他	0	平成26年度: 776,075円(審議会7回開催)	
一般財源	514		
計	514		
行財政改革課処理欄			

教004	項目名	勤労青少年ホーム施設整備費	
予算書項目	施設整備費	ページ	33
年度	H27		
所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】施設係 0857-20-3373		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 勤労青少年ホーム管理費	勤労青少年ホーム体育館は、鳥取県の大路川広域河川改修事業に伴い、平成28年10月までに解体しなければならないことが決定している。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
補正前額	0	勤労青少年ホーム体育館解体設計を施行する。	
要求額	1,733	※今後のスケジュール	
総務部長段階査定額	1,733	H27.10月 解体設計委託発注	
市長段階査定額	1,733	H28.2月 解体設計完了	
区分	補正額	H28.5月 解体工事発注	
財源内訳		H28.9月 解体工事完了	
国・県支出金	0	H28.10月 大路川広域河川改修事業発注(県事業)	
地方債	0		
その他	1,733	※その他財源の諸収入は、移転補償費。	
一般財源	0		
計	1,733		
行財政改革課処理欄			

教005	項目名	さじアストロパーク運営管理費	
予算書項目	さじアストロパーク運営管理費	ページ	33
年度	H27		
所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 さじアストロパーク管理費	さじアストロパークは、103cm反射望遠鏡やプラネタリウム、様々な展示物、宿泊施設等を備えた国内有数の公開天文台として天文教育や理科教育などを担い、地元鳥取市はもちろん、美しい星空を求めて岡山県や京阪神方面等の広い地域から年間およそ2万人の来館者がある。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
補正前額	26,188	鳥取市の生涯学習の拠点として、天文教育や理科教育を担うとともに、県外からの多数の来館者により地域の振興に寄与することを目的とする。	
要求額	843	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	843	さじアストロパーク内宿泊施設（4棟）には、それぞれに望遠鏡が設置されており、このうち3基の望遠鏡の「ズーム・ピント合わせの不具合」、「パソコンとの連動の不具合」、「駆動モーターの誤作動」等の指摘を受けたため、早急に点検、整備を行う。	
市長段階査定額	843	【事業の内容】	
区分	補正額	さじアストロパーク内宿泊施設（4棟）には、それぞれに望遠鏡が設置されており、このうち3基の望遠鏡の「ズーム・ピント合わせの不具合」、「パソコンとの連動の不具合」、「駆動モーターの誤作動」等の指摘を受けたため、早急に点検、整備を行う。	
財源内訳	補正額	さじアストロパーク内宿泊施設（4棟）には、それぞれに望遠鏡が設置されており、このうち3基の望遠鏡の「ズーム・ピント合わせの不具合」、「パソコンとの連動の不具合」、「駆動モーターの誤作動」等の指摘を受けたため、早急に点検、整備を行う。	
国・県支出金	0	【事業の内容】	
地方債	0	さじアストロパーク内宿泊施設（4棟）には、それぞれに望遠鏡が設置されており、このうち3基の望遠鏡の「ズーム・ピント合わせの不具合」、「パソコンとの連動の不具合」、「駆動モーターの誤作動」等の指摘を受けたため、早急に点検、整備を行う。	
その他	0	【事業の内容】	
一般財源	843	さじアストロパーク内宿泊施設（4棟）には、それぞれに望遠鏡が設置されており、このうち3基の望遠鏡の「ズーム・ピント合わせの不具合」、「パソコンとの連動の不具合」、「駆動モーターの誤作動」等の指摘を受けたため、早急に点検、整備を行う。	
計	843	【事業の内容】	
行財政改革課処理欄			

教006	項目名	キャンプ地誘致推進事業費	
予算書項目	オリンピック関連事業費	ページ	33
年度	H27		
所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】		
目 体育振興費	2020東京オリンピックキャンプ地誘致に向けて機動的に活動するため、県・関係競技団体・体育協会などで構成する実行委員会を立ち上げ、様々な競技の合宿や大会等の誘致に取り組んでいる。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
補正前額	7,301	平成27年度開催予定の世界陸上北京大会のキャンプ地や県内ナショナルチーム合宿の誘致等を行うことで、東京オリンピックに伴う地域活性化を図る。	
要求額	3,490	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	3,490	ジャマイカ陸上チームの2015世界陸上北京大会事前キャンプに係る経費の増額に伴い、市負担額（負担割合：増額経費の1/3）を補正をする。	
市長段階査定額	3,490	経費増額見込額 10,470千円 市負担額 3,490千円 （負担割合 県 1/2、市 1/3、県体協 1/6） ※主な増額理由：航空運賃、宿泊費の増	
区分	補正額	【事業の内容】	
財源内訳	補正額	ジャマイカ陸上チームの2015世界陸上北京大会事前キャンプに係る経費の増額に伴い、市負担額（負担割合：増額経費の1/3）を補正をする。	
国・県支出金	0	経費増額見込額 10,470千円 市負担額 3,490千円 （負担割合 県 1/2、市 1/3、県体協 1/6） ※主な増額理由：航空運賃、宿泊費の増	
地方債	0	【事業の内容】	
その他	0	ジャマイカ陸上チームの2015世界陸上北京大会事前キャンプに係る経費の増額に伴い、市負担額（負担割合：増額経費の1/3）を補正をする。	
一般財源	3,490	経費増額見込額 10,470千円 市負担額 3,490千円 （負担割合 県 1/2、市 1/3、県体協 1/6） ※主な増額理由：航空運賃、宿泊費の増	
計	3,490	【事業の内容】	
行財政改革課処理欄			

教007	項目名	サッカー場整備費	
予算書項目	サッカー場整備費	ページ	33
年度	H27		
所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	一般会計		
款	教育費		
項	保健体育費		
目	体育施設費		
(単位:千円)	補正前額	0	
	要求額	21,451	
総務部長段階査定額	21,451	その他財源の内訳	
市長段階査定額	21,451	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	1,800
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,800	
	一般財源	19,651	
	計	21,451	
事業の概要	<p>【問合せ先】施設係 0857-20-3373</p> <p>【9次総の施策体系】3103</p> <p>【事業の目的及び効果】 2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致を推進するとともに、施設利用者の利便性向上を図るため、施設の更新整備を行う。</p> <p>【事業の内容】 本市のサッカー場を整備する。 ◆バードスタジアム ①空調設備の更新(全10系統) 20,731千円 ②空調設備の新設(チケット売り場) 169千円</p> <p>◆若葉台スポーツセンター ③夜間照明修繕 551千円</p> <p>【事業の実績】 20年度 サブグラウンド砂防ネット設置、電光掲示板入力 17,463千円 21年度 大規模改修(スタジアム音響、エレベータ設置等) 87,981千円 22年度 大規模改修(スタンド雨漏り改修、スタジアム動線改修等) 130,734千円</p>		
行財政改革課処理欄			

教008	項目名	市民体育館等再整備事業費	
予算書項目	体育施設再整備事業費	ページ	33
年度	H27		
所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	一般会計		
款	教育費		
項	保健体育費		
目	体育施設費		
(単位:千円)	補正前額	0	
	要求額	398	
総務部長段階査定額	398	その他財源の内訳	
市長段階査定額	398	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	398	
	計	398	
事業の概要	<p>【問合せ先】施設係 0857-20-3373</p> <p>【9次総の施策体系】3103</p> <p>【事業の経過及び背景】 市民体育館は、老朽化による大規模改修が大きな課題となっていたことに併せて、平成22年に実施した耐震診断では、耐震補強を要する施設であることが判明した。市民体育館の耐震化を実施する前に廃止・統合も含めた今後のあり方を検討するため、平成26年度に市民体育館等の再整備に関わる基礎調査を実施した。</p> <p>【事業の目的及び効果】 市民体育館等あり方検討委員会を設置し、今後の市民体育館のあり方を検討する。</p> <p>【事業の内容】 市民体育館等あり方検討委員会開催経費等。</p> <p>(委員構成)10人程度 学識経験者(鳥取大学)、住民代表(自治連合会)、スポーツ推進審議会(会長) 福祉団体(社会福祉協議会)、経済団体(商工会議所)、地域住民(美保地区) 利用者(競技団体)、公募委員(2人)</p> <p>(検討内容) 市民体育館再整備の必要性の検討。 ・現状と課題 ・将来利用予測など 平成27年度は3回実施予定。</p>		
行財政改革課処理欄			